

## CONTENTS

- " The bulb itself says nothing " 「球根は自らを語らない」～包装とパッキング～  
 Flower-bulb power in Tohoku!!! 「球根の力」を東北の地へ!  
 リリーアベニュー in 大田市場 10月に開催  
 リリーエンジェル2014 Get-Together Party (10月18日)のご案内  
 アイバルブ・ジャパンの新しいウェブサイトができました!  
 リリーエンジェル・レポート 7月から8月の活動報告

## " The bulb itself says nothing " 「球根は自らを語らない」～包装とパッキング～

世の中、「プレゼンテーション」が大事です。もちろん、その中身である商品が良いことが前提で、消費者を落胆させてはなりません。そのうえで近年、販売プロセスにおける包装への関心と重要性の認識が高まっています。今回はその包装とパッキング事情をお伝えしましょう。



包装パッキングはそもそも商品を最高の状態で消費者の手元に届ける、といった機能的な役割から始まり、また商品の置き場所、使用方法などといった情報の担い手という役割もあります。加えて、マーケティングの役割が高まってきた、というのがオランダのエルブルグ・ボタニック・メディア社代表の ヤン・マルク・オースティング氏の意見。包装パッキングは商品を市場に売り出す際の情報の担い手として欠かせないものだを教えてくれました。たとえば、サンセベリアの鉢物を例に取ってみると、長年「おばあちゃんの鉢物」といったイメージのプランツが、包装パッキングと写真、プレゼンテーションの強力タイアップで、トレンドなラウンジプランツとしてヒットしたことは記憶に新しいところです。球根業界もしかり。広告会社コップアート社曰く「球根自身は物を語らない。こういう花が咲きますよ、といった約束の上で販売される商品なのです。」

「特に球根は衝動買いを狙ううえでも、いかに包装を魅力的にするかといったことは非常に重要です。」別なトレンドウォッチャーも、「花の美しさを包装でアピールして消費者の目を惹かなければなりません。球根を買うつもりはなかったけれど・・・という人を引きつけるのがポイントです。」と付け加えます。

## 特別性

オランダで球根は袋入りでの販売が普通です。様々なバリエーションがあるにしても80%はこの方法で店頭に出ます。そこでポイントになるのが「店頭でのプレゼンテーション」です。単に袋をつり下げる、もしくは箱ごとに袋を詰めたままでの陳列では消費者の目を引くには印象が弱すぎます。球根がいわゆる「生もの」の商品である以上、販売期間にも限りがあり、コストパフォーマンスも重要になってきます。残念ながら球根は高級品といったカテゴリーには入りません。例をあげれば、プラスチックポットに植わったラベンダーには4,5ユーロという値段は



つけられるが、10個入りのチューリップの球根はどんな品種でも2ユーロが定番でしょう。先のコップアート社では近年、仕入れの際に普通の袋よりも少々値が張るものの、販売に2倍高く値段をつけられるパッキングを提唱している。「良い包装パッキングは、マージンを上げる可能性を持つ」という考えかたなのです。

包装パッキングのデザインを練る前に、まずどの顧客ターゲットを狙うかを絞ることが重要です。「ベースはあくまでもより良いものをめざす、その上でどのようなメッセージを載せるか。何を言いたいのか。どのように伝えるのか。品質と美を中心に、その上に自然志向で行くのか等々……。そこからパッキングの容相が決まってくる。自然志向でいくのなら、当然色にはピンクを使うこともないなど、全体のイメージも合わなくてはなりません。方向性が決まったら、あとはデザインに取りかかるだけです。」テラスで使用するのかバルコニーで楽しむのかといったようなこと。また、コンセプトも忘れてはなりません。デザインがコンセプトにマッチしており、全体のラインとしてのスタイル、雰囲気、色使い、形、文字タイプが合うように目指します。前述のオースティン氏は「我が社のスタッフは常にフード、モード業界のトレンドからインスピレーションを探しています。このような業界はマーケティング調査が盛んで、新しいコンセプトやスタイルに関しては常にトレンドセッターですから」と取り組み方を教えてくれました。



## チョイス

時には小売り側からの希望という形で声が上がってくることもあります。「商品がどこで販売されるのか」という点で、もしディスカウントショップであれば、包装は高級感、シック感をあまり必要としないという具合に、包装パッキングとショップのタイプという点もマッチしていなければなりません。名の通ったチェーン店は自社イメージも定着しており、もちろんそれを球根商品にも希望してきます。これははっきりとしたチョイスといえます。イベントに合わせたチョイスなど例は他にも上げられます。

肝心な点はターゲット像をはっきり持ち、アプローチするという点。ターゲットに善し悪しはなく、同じ球根でもスタイルや雰囲気の提案の仕方には多様な可能性があります。また、トータルコンセプトを開発することも可能だと広告会社は続けます。トータルコンセプトを作ることで、販売店の店員向けの簡単な説明書や販売用什器つきで、店頭そのまま設置しプレゼンテーションをすることもできます。

球根業界でも次第に包装パッキングの多様化を求めるようになってきていることは良い動きと見られています。どこでも同じような球根の袋詰めパッキングでは、他の店や商品との差別化にもつながらず、また消費者の目にも止まりません。現況ではそれぞれのオリジナリティも欠けていて、「王室ガーデンでも植えられている品種」や「パリの園芸展で受賞」などといった生産者側からの情報も今後必要だと思われます。



## リサーチ

まとめとして、専門家が口々に「勇気を持って、思い切ってトライすること」とアドバイスしていることに注目したいと思います。消費者を引きつける方法は沢山あります。消費者に欠けているノウハウを提供し、実施的なアドバイスをし、創造性に遊び、消費者に違いを認識してもらいましょう。ステレオタイプなプランにとどまらず、フレッシュな観点から包装パッキングを見直しましょう。また、輸出業者と卸業者の提携も呼びかけています。「一つの包装パッキングを協同で購入し、ちょっとした一ひねりを加えてアイデンティティを与えることによって可能性が広がる。」また「販売ロケーションとなる現地での簡単な市場調査も行ってみよう。」「自分のアイデアをあちこちに投げてみよう。いろいろな

意見が帰ってくるはずだ。」と市場調査、リサーチを勧めることも忘れていません。最後に重要なポイントは「間違っても消費者に、球根植えは簡単だなどという、勘違いのアドバイスをしないこと。」実際、球根を植えるという作業は時間もかかるし簡単ではありません。それでもなお、花が咲いた時の喜びはとても大きいのです。

(『Bloemenbollen Visie』の記事より 画像提供は [www.elburgsmit.com](http://www.elburgsmit.com))

## Flower-bulb power in Tohoku!!! 「球根の力」を東北の地へ!

### 福島県飯館村の皆さんが避難している、伊達市仮設住宅でのチューリップの話

2012年5月号でご紹介した福島県飯館村の皆さんが暮らす伊達市の仮設住宅のチューリップを覚えていらっしゃいますか? 仮設に住む皆さんはもともと農家さんも多く、土に触れることが大好きです。球根を届けた時にはすでにきれいに土が整地され植えつけるばかりになっていました。翌2012年の春にはたくさんのチューリップがきれいな花を咲かせました。伊達仮設の皆さんは、この花が咲ききる前に翌年用に球根を育て、その年の秋、初回と同じようにジャクリーンスタイルで植えつけました。2013年の春、この2代目チューリップは見事な花を咲かせました。

現地を訪れた支援者やボランティアの皆さんに「きれいでしょ! オランダから頂いた球根を掘り起こして育ててまた植えたのよ~!」と、皆さんそれぞれ、うれしそうに話されるそうです。この球根たちのために、土を作り育てる事で、入居当時ばらばらだった仮設の皆さんのコミュニティを作る一役になったのは間違いありません。球根の力、花の力、植物の力を感じませんか?



### オランダ王国大使館によるチューリップ「TOHOKU」の寄贈

2012年9月28日、アムステルダム首都圏エリア使節団として訪日中のアムステルダム市のファン・デル・ラン市長、アムステルフェーン市のファン・ザーネン市長は被災地を訪れ、被災地に因んで「TOHOKU(東北)」と名付けられたオランダの新種のチューリップを仙台市の奥山恵美子市長に贈呈しました。このチューリップは、日蘭両国の友好を表すピンクとオレンジが入ったユニークな花びらで、咲き進むと色が反対に変わっていくという珍しい品種です。



チューリップ「TOHOKU」は、この時点でまだ登録が完了していなかったため、個人使用として持ち込みが許される99球を持参、そのうち7球が奥山市長に、残りの92球は津波で校舎が被災した中野小学校の子供たちが仮校舎として学んでいる仙台市立中野栄小学校に寄贈され、ファン・フォレンホーヴェン オランダ王国大使、両市長が生徒たちと校内のプランターに植えました。

正式に登録を済ませた10,901球のチューリップ「TOHOKU」は、この秋オランダから日本に送られ、オランダ王国大使館から仙台市に寄贈され、市内の多くの方が集まる場所に植えられる予定です。

### いきいきと育つカラー! 陸前高田の「希望の庭」に行ってきました

「希望の庭」に対面してきました。その庭は絶えまなく響く土木重機の音と国道45号線をひっきりなしに走り抜けるダンプカーの列のすぐそばにありました。海辺の土地はかさ上げされることが決まり、今、まさに復興に向けて動き出しているのです。国道45号線は、気仙沼から陸前高田にはいると広田湾を右手に見るように海沿いに出て北隣の大船渡市へと大きなカーブを描いて坂を登ります。そのゆるやかな丘陵に「希望の庭」があります。あの日から2年以上の時

間を経て、まわりは、ほとんどが草の緑に覆われていました。その緑の中に庭があり、色とりどりの花が咲いていました。信号待ちのとき、道から見えるんです。坂の下からも上から下りてくるときも。そのとき何かを感じないはずがない。そのような場所に「希望の庭」は確かにありました。

「希望の庭」では、すでに水やりを終えた吉田正子さんが笑顔で私たちを迎えてくれました。吉田正子さんは、この庭の主であり、みんなの取りまとめ役です。震災から2年、今、吉田さんは別な場所に住まいを設け、元自宅のあったこの場所に「希望の庭」を移設しました（本ニュースでも既報）。植栽された植物の選定には吉田さんたちの意見も多く盛り込まれていて愛着のある庭のかたちになってきたのではないのでしょうか。

「希望の庭」は5月に植えた花々が勢いよく育っていました。この夏の強い日差しのもとで鮮やかな色の花をたくさんつけています。とくに驚いたのは、カラーです。オランダの種苗会社 Captain in Calla 社が提供、株式会社日新の協力で届けられた球根は、もともと



と最高品質の巨大な球根で、一株から十本近くの花茎を伸ばしていました。そのどれもがまさに切り花として楽しめるような長さのある花です。他にも、イングリッシュローズ、アジサイ、フォックスグロブや三尺バベナ、ブッドレアなどがボリュームよく花をつけていました。なんとといっても移設したことでできるようになったのは、木を植えたこと。桜、カエデ、カツラ、ナナカマドなどこの土地にあった木々をこれからも増やしていきたいと吉田さんは話していました。

この秋には、また、楽しい話題があります。それは、来春に向けたチューリップの球根の植え込み。一番の目玉は「TOHOKU」です（前掲の記事参照）。この「TOHOKU」チューリップがオランダの種苗会社ロイヤルファンザンテン社の力添えで、「希望の庭」のために用意できることになりました。植えつけは、「花のカプロジェクト」通じ、多くのボランティアのみなさんと一緒にできればいいですね。楽しみです。



今年7月末には、音楽家を招いての野外コンサートも行われました。震災後の人々を励ます庭から、ほんとうに植物を楽しむ、庭を楽しむためのみんなが集まる場所にちょっとずつその役割を変えてきているのかもしれない。陸前高田の人たちはもともとお花が大好きで、みなさん庭で思い思いの花づくりを楽しんでいました。そういう生活を少しずつ取り戻していく。そのときに、この「希望の庭」はランドマークとなり、実際の庭づくりに役立つ場所になっていく。みんなが花を囲んでいるんなイメージを描いて楽しむ。それぞれに何かを感じて持ち帰る。そんな姿を思い描きました。

また、ぜひ出かけたと思います。そうそう、今回食べることができなかった美味しいものや美しい風景も忘れずに、食べて見てこようと思います。みなさんもぜひ、いっしょに行きませんか？

## Lily Avenue ! リリーアベニュー in 大田市場 10月に開催

10月21日(月)から10月25日(金)の5日間、東京・大田市場でリリーアベニューというイベントをします。市場に来るお花屋さん、デザイナーさんたちを対象に、新品種のユリを含めて多様なユリの楽しみ方を提案します。リリーエンジェル情報やリリープロモーション・ジャパンのPRコンセプト「ユリは女性に捧げる感謝の花」などをご紹介

介します。展示のほかに注目したいのは、ユリを使ったアレンジメントコンテストです。テーマは『いい夫婦の日』（11月22日）、受賞作品は月刊誌フローリストに掲載予定です。みなさんのアイデアと作品が今から楽しみです。

期間中は、デモンストレーションもあります。参加予定のデザイナーは、かねとういさお、平井昭臣、カトリン、伊藤義明、小林祐治の各氏。もちろん、リリーエンジェルもやってきますので応援お願いいたします！

場所はデモンストレーションが大田市場1階の仲卸通り中央。コンペティション作品の展示は、大田市場2階通路です。期間中に来てくれるリリーエンジェルは10月21日（月）に長谷川美香さん（新潟県五泉市）、23日（水）森田那月さん（高知県高知市）、25日（金）には坂本智菜美さん（佐賀県鹿島市）を予定しています。

このイベントの主催はリリープロモーション・ジャパン。協賛は、大田市場花き部仲卸協同組合、株式会社大田花き、株式会社フラワーオークションジャパンの各団体、企業です。



## リリーエンジェル 2014 Get-Together Party (10月18日)のご案内

国内で栽培されるユリの販売促進のために設立された、リリープロモーション・ジャパンでは、ユリの美しさと魅力をより広く皆様を知っていただくため昨年「リリーエンジェル」プロジェクトを立ち上げ、現在12名のユリ生産者のお嬢さんたちがユリの使者として、全国の市場やイベントなどで活動しています。

このたび、ユリの使者であるリリーエンジェル2014の12名を含め、多くの皆様と交流し、さらなる親睦を深め、ユリについて語る場として「リリーエンジェル2014 Get-Together Party」(リリープロモーション・ジャパン懇親会)を開催いたします。どなたでも参加できます。ぜひ、2014年に向けて新たなリリーエンジェルたちのスタートをいっしょに楽しみませんか！



日時：2013年10月18日（金） 19:00～21:30

会場：メルパルク東京（東京都港区芝公園2-5-20）

・返信シート（ご請求ください）に必要事項をご記入の上、Eメールまたはファックスでご返信をお願いいたします。

・参加申し込みの締め切りは、9月13日です！

・参加費（5,000円）は当日受付で頂戴いたします。

・お問い合わせ先：アイバルブ・ジャパン/リリープロモーション・ジャパン

TEL 03-3417-8743 FAX 03-3749-7853 [ibulb@aurorajp.com](mailto:ibulb@aurorajp.com)

## アイバルブ・ジャパンの新しいウェブサイトができました！

アイバルブ・ジャパンのウェブサイトが新しくなりました！8月23日から公開しています。より見やすく、アクセスしやすくなりました。ここから、さまざまな情報発信をおこなっていきます。よろしくお願いいたします。

<http://www.ibulbjapan.jp/>

Facebook ページも公開しました！

<https://www.facebook.com/pages/%E3%82%A2%E3%82%A4%E3%83%90%E3%83%AB%E3%83%96%E3%82%B8%E3%83%A3%E3%83%91%E3%83%B3-iBulb-Japan/155628454635890>



## リリーエンジェル・レポート 7月から8月の活動報告

「リリーエンジェル」が全国各地で活躍しています！ 市場やイベントに登場し、ユリの魅力をアピールしています。応援をお願いします！

6月28日 大田市場で開催の新潟県JA切花協議会「にいがたのユリ サンクスフェア」に新潟出身の近藤麻実さんが参加しました。新潟各地のユリでつくったユリタワーも圧巻でした！

7月3日福岡花卉主催の若手育成事業研修会に高知県出身の森本恵美さんが参加し講演されました。研修会のテーマは「花のマーケティングと産地のあり方」。森本さんは「花と私と家族と仲間」というテーマで発表されました。

7月6日、7日の両日、新潟県長岡市で開催された「アオーレ長岡ゆりまつり」に新潟県出身の長谷川美香さんと近藤麻実さんが参加しました。ポストカードを配り、新潟産のユリをアピールしながら会場を盛り上げました。



7月8日、北海道出身の中田早紀さんが、なにわ花いちばで行われた北海道当別町のユリをはじめとする花のPRに参加しました。(写真右)

7月20日(土)に開催された札幌花き市場まつりに、北海道出身の中田早紀さんが参加しました。チャリティーオークションではお客さんの前で挨拶などをおこないました。(写真左)



- \* リリーエンジェル・プロジェクト 詳しい情報はウェブで <http://www.lily-promotion.jp/program/>
- \* 「リリーエンジェル」の Facebook ページ <https://www.facebook.com/lily.angel.jp>
- \* リリーエンジェルとユリのPRを希望される皆様は、ぜひ、お問い合わせください！

2013年の夏。ほんとに暑い夏でした。人にも花にも過酷でしたね。そしてまたサンマの季節=秋植え球根のシーズンです！カタログ見ながらあれこれ考えているガーデナーもたくさんいらっしゃることでしょ。そして「パッケージ」に一目惚れして球根を買ってしまう人たちも！そんなわくわくする出会いをたくさんの方が経験できたらいいなと思います！ジャストドゥイット！

アイバルブ・ジャパン・ニュースレター 2013年8月号(第008号) 発行: アイバルブ・ジャパン

HP: [www.ibulbjapan.jp](http://www.ibulbjapan.jp) メールアドレス: [ibulb@aurorajp.com](mailto:ibulb@aurorajp.com)